

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	都市計画事務【ウォーキングマップの配布事業】					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名 神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4	-	3	-
【施策名】 都市景観の形成	総合計画書 (ページ)	87			

予算名	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業 3	都市計画事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------	------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民及び市外から市を訪れる人	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 必要とする市民等
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市内を散策し、自然や文化財に親しみながら、市の街づくりを知ってもらおう。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 配布枚数
	③ そのために何をしましたか。 ①ウォーキングマップの内容を適宜見直し、印刷する。 ②4種類のウォーキングマップを所定の場所で配布する(随時補充)。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 印刷枚数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	枚	-	-	-	-	
	成果指標	②の数値	枚	17,020	10,190	8,630	-	
	目 標	②の目標値	枚	10,000	10,000	8,000	8,000	8,000
		目標値設定の考え方	配布対象者の見直等を行いながら目標配布枚数を設定している。					
活動指標	③の数値	枚	20,000	20,000	16,000	-	-	

3 経費	事業費(実績)		円	302,400	302,400	293,760	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	302,400	302,400	293,760	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400	
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	1,129,100	1,127,700	1,118,160		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 開始時期：平成12年度 開始目的：散策しながら市の街づくりや文化財を見ることが出来るマップを作成・配布することで、市民に街づくりの状況を知ってもらおうとともに、市外からの来訪者にも東大和市の魅力を知ってもらおう。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし

仕 事 の 内 容	都市計画事務【ウォーキングマップの配布事業】						
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名	神山 尚

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	引続き、見やすさ等の向上を図る必要がある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	都立狭山緑地内の展望広場の記載や故吉岡堅二旧宅から（仮称）東大和郷土美術館への名称変更、プラネタリウムの観覧料の案内などの修正を行い、見やすさ等の向上を図った。					
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	情報の更新などを行い、より見やすく、親しみやすいマップを作成していく。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	より見やすく、親しみやすいマップを作成していく。					
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	凡例等、マップの見やすさを追求し、修正を図る。引き続き配布枚数についての検証を行っていく必要がある。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。	